

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	オープン以来、「共同生活の場」という施設本来の姿に対するアプローチがやや希薄であり、日常の生活場面において、利用者様達に役割を担っていただける多くの事柄を職員の業務範疇としている部分が多分にある。	当施設が「共同生活の場」であることを職員間で再確認・共有し、利用者様各々の個性や身体状態に見合った役割を日常生活の中で担っていただく。このことにより、利用者様が、生活の中において当施設に対する帰属感を感じていただけるようにしたい。	食堂ホールでの食前後テーブル拭きや食後の食器洗い、生活空間であるホールの清掃等々について、まずは安全かつ適度な役割を当番制の仕組みにて提案し、利用者様の様子をモニターしていく。	12ヶ月
2	12	職員個々の現状を把握し、具体的な個別の業務目標を話し合いの中で設定するためにも必要であり、メンタルヘルスのフォローにもつながる定期的な職員面談が実施できていない。	個別での面談を通じて職員個々の思いや課題を把握し、その中で設定した具体的な目標の達成を目指すことで職員が仕事に対してやりがいや達成感を味わえる職場作りに取り組む。	管理者との個別面談期間を設け、事前に作成した個人の目標や心身状況等を記した自己アンケートをもとに、個人にとっての働きやすさを探るとともに業務における短期目標、中期目標を設定する。	12ヶ月
3	2	運営推進会議等を通じて地域にその存在が徐々に浸透してきてはいるものの、まだまだ具体的な繋がりと言えるだけの貢献や連携はできていない。定期的な貢献行動や連携の場面を実現することで、更なる地域密着が必要である。	運営推進会議を活用させていただき、地域のマンパワーを施設の活性化に繋げていくとともに、地域の行事などにも積極的に参加させていただくことで地域の活性化にも貢献していきたい。	施設内でのイベント時に地域の方々を招待させていただくことで、より身近に当施設を感じていただくことから始める。地域において可能なボランティア活動などに参加させていただく。	12ヶ月
4	33	暮らし慣れた当施設での終末(看取り)を利用者様、ご家族様が希望される場合を想定してはいるものの、職員のそれに対するスキルやご家族様対応についての備えには課題がある。	安心して暮らしていただける施設、終末を迎える時に看取りまで寄り添える施設を目指し、協力医療機関との連携を深める中で、ご家族様に信頼していただける体制を構築したい。	事前のご家族意向確認に必要な施設独自書類の整備、訪問看護との定期的なカンファレンス開催、終末期(看取り期)特有のケア方法の検討、現在は提供できていない食形態の追加検討等を早期に実現・具体化していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。